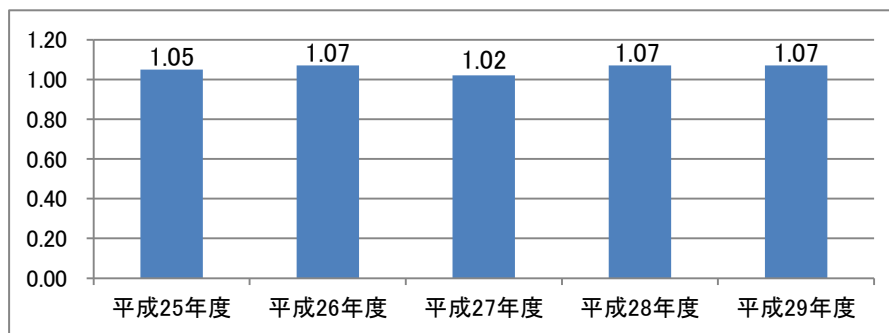


30 患者構成の指標

○項目の解説

在院日数の長い複雑な疾患の患者をどの程度診療しているのかを表現した指標です。全国のDPC対象病院の疾患毎の平均在院日数を用いて、各国立大学附属病院の患者構成の違いを相対的に表します。数値は1が全国平均であり、1より大きい場合、在院日数を長く必要とする複雑な疾患を診療している病院といえます。つまり、高度な医療を提供する国立大学附属病院として、治療の内容が複雑な患者をより多く診療していることを示す指標です。「項目29 在院日数の指標」と「項目30 患者構成の指標」の二つの指標を使って、どの程度複雑な疾患を、どの程度効率的に診療しているのか、病院の特性を知ることができます。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

当院は、全国のDPC対象病院の平均より高く、また、国立大学病院の平均も上回っております。在院日数を長く要する複雑な疾患が多く、高度な治療が必要となりますが、指標からも効率的に治療が行えていると考えております。

○定義

厚生労働省のDPC評価分科会の公開データです。

参考：DPC導入の影響評価に関する調査（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000196043_00001.html

○算式

指数